



祭り



しろとりじんじゃ だいだいかくら
■白鳥神社の太々神楽 [町指定無形民俗文化財]
[4月第3日曜・10月第2日曜]

明治41年(1908)、白鳥神社に神楽殿が建立された際、地区の有志が木幡神楽会を創立したのが始まりとされています。他の太々神楽には見られない「蚕養舞」があるのが特徴で、現在ではさらに発展した軽妙な舞を見ることができます。



針道はりみち諏訪神社すわいじんじやの祭礼で、400余年の歴史を誇ります。記録には、凶作が続いて疫病えびがみが大流行した際に古い神輿みこしの渡御とぎやを願い出て、この時、獅子頭を求めて神楽を行い、人形を飾り付けた山車や神楽ばやしを奉納したと記されています。現在では若者の独創による大型人形の山車7台が繰り出し、豪快な大鼓の音と勇ましい掛け声とともに、激しく山車をもみ合う勇壮な祭りとなっています。

針道のあばれ山車だし
[町指定無形民俗文化財]

祭り

